

「二輪車リサイクル自主取り組み実施報告」

2015年9月14日

二輪車リサイクル自主取り組み参加事業者連絡会

参加事業者 16社：本田技研工業(株)、ヤマハ発動機(株)、スズキ(株)、川崎重工業(株)、(株)成川商会、(株)MV AGUSTA JAPAN、Piaggio Group Japan(株)、(株)福田モーター商会、(株)イーケーイー、(株)プレストコーポレーション、(株)ブライト、ドウカティジャパン(株)、ビー・エム・ダブリュー(株)、トライアンフモーターサイクルズジャパン(株)、(株)エムズ商会、伊藤忠オートモビル(株) (2015年3月末現在)

2004年10月に開始した二輪車リサイクルシステムは、2011年10月からの廃棄時無料引取開始を経て、廃棄二輪車の適正処理・リサイクルのためのセーフティネットとして安定的に機能している。

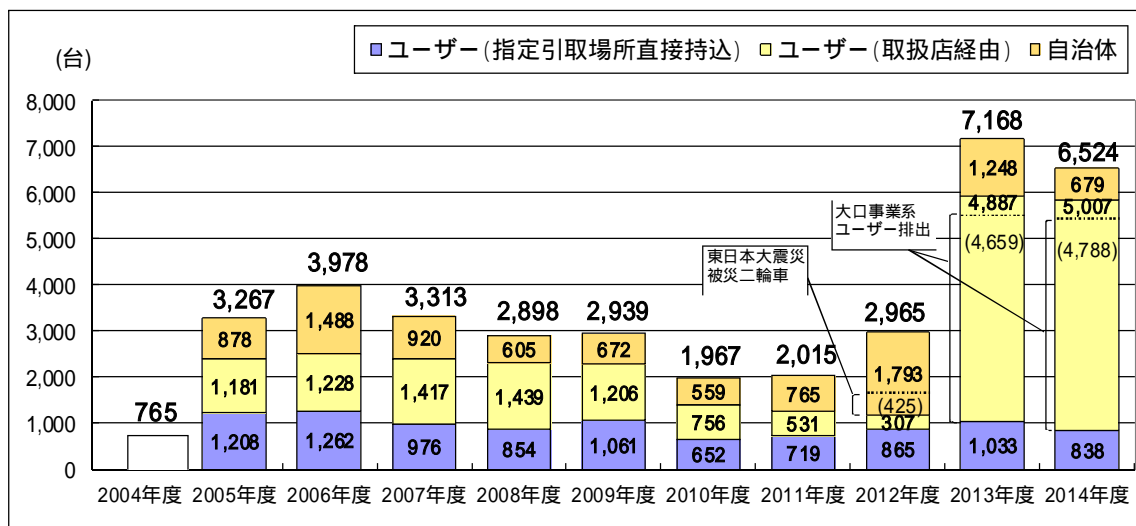
1. 運用実績

(1) 2014年度実績

引取台数：前年度の7,168台に対し、6,524台であった。内訳等は次のとおり。

- 大口事業系ユーザー（1社）による4,788台の排出は前年度より増加（+129台）したが、自治体排出をはじめ他の排出者からの台数が減じた。
- 一般ユーザー（個人、事業者）からの排出は1,057台であり、その内、指定引取場所への持ち込みは838台、廃棄二輪車取扱店経由での持ち込みは219台であった。
- 自治体からの引取りは前年度の69自治体1,248台に対し、60自治体679台であり、569台減少した。利用自治体60自治体のうち20自治体が新規利用であった。
- 引取車両の内、本システム開始後に販売された車両（リサイクルマーク付き車両）は30%強（2,189台）と前年度（20%）に比べて増加したが、これは、大口事業系ユーザーによる排出車両の車齢が若いことによる。

【引取実績推移】



注) 2004年度は排出者の属性を特定していないため、引取総数。

再資源化率：熱回収の遅れていた施設での熱回収促進、シュレッダダストの燃料化を推進した結果、全施設平均再資源化率が97.3%となった（2015年の再資源化目標率95%を達成。再資源化率は、重量ベース）。

(2) 周知広報活動

公益財団法人自動車リサイクル促進センター（以下「JARC」）を通じて、自治体広報を通じた住民周知の働きかけ、及び二輪車及び環境イベントを通じたユーザー向け周知を行った。

その結果、自治体広報においては、人口10万人以上の290自治体中252自治体（うち人口20万人以上では133自治体中128自治体）が、ウェブサイト等の住民広報媒体で本システムを案内している（2015年3月末時点、JARC調べ）。

また、二輪車イベントにおいてユーザーによる当システムの認知度を測ったところ、「知っている」との回答は53.5%であった（2015年3月東京モーターサイクルショーにてJARC実施）。

【自治体による住民向け広報媒体への掲載実態調査】



注) 調査対象自治体は、2009年10月1日推計人口(総務省)10万人以上の自治体

(3) その他

ユーザー利便性向上をめざし、問合せ者のニーズ等を詳細に分析できる機能を有したコールセンターに移設（新電話番号：050-3000-0727）。問合せ者、質問内容、応答時間等を分析している。

また、ユーザーから相談を受けることの多い販売店に対して、販売店が3年に1回定期的に受講する「品質評価者講習会」の場を活用し、ビデオ映像によるシステム案内を行い、システムの理解を高める工夫を続けている（講習会受講者数2014年実績：1,825人）。

2. 2015年度の重点的取り組み

(1) 周知広報活動

廃棄に際して適切な情報が入手できるように、自治体のごみカレンダー等を通じた住民案内が進むよう各自治体に働きかける。あわせて、インターネット検索においてJARCのホームページが上位でヒットするよう、システム案内の文言について工夫を図る。その他、エコプロダクツ東京（環境展示会）やモーターサイクルショー（東京、大阪）へのブース出展を行い継続的にシステムの周知を進める。

(2) 再資源化率

地域の事情により、シュレッダーダストを埋立せざるを得ない施設が出てきている（南九州地区）。これに対応する為、シュレッダーダストの減量施策を検討し、施設と調整しつつ実施する。

以上

平成 26 年度 広報周知活動の一例

自治体への周知

公益社団法人全国都市清掃会議に協力いただいた広報活動
地区協議会廃棄物処理実務研修会への参加

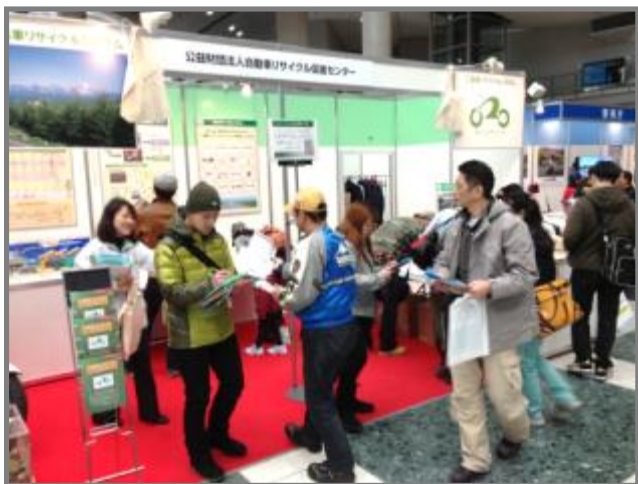
	地区	開催日	開催地	参加自治体数
1	北海道	1/20	札幌市	23
2	東北	11/5	大館市	26
3	関東	8/18	相模原市	88
4	北陸・東海	8/21	富山市	34
5	近畿	-	-	-
6	中国・四国	1/30	松山市	22
7	九州	7/17	都城市	19
計				212



北陸・東海地区 実務研修会

ユーザーへの周知

イベントブース出展



東京モーターサイクルショー



エコプロダクツ東京

JARC ホームページ



ユーザーへの持込先案内



廃棄物処理法に基づく情報公開

平成 26 年度 広報周知活動の一例

ユーザー向けパンフレット

2015年1月から
コールセンターの電話番号が変わります

二輪車リサイクルシステム



乗らなくなったなら、再資源化。
オートバイを愛する人々みんなの責任です。

私たちの暮らしの中では、使用済み製品の再資源化が進んでいます。こうした循環型社会の実現に、オートバイ廃棄も力を入れていくことも期待ですが、2004年10月からスタートした「二輪車リサイクルシステム」は、国内メーカーと輸入事業者が協力しオートバイの真正処理・再資源化の自主的取組んでいます。「大事に乗って来たバイクだから、乗り継ぐってからも資源として大切に活かしたい」。オートバイを愛するライダーの皆様には、この運動をご理解いただけることと思います。限りある資源の有効活用へ、ぜひご協力をお願いします。

私たちは、「二輪車リサイクルシステム」の推進に自主的に取組んでいます。

参加事業者一覧 2014年9月1日現在

番号	参加事業者	対応ブランド	連絡先
100	本田技研工業(株)	HONDA	0120-086-816 (受付時間: 9:00~17:00) http://www.honda.co.jp/motor/
110	ヤマハ発動機(株)	YAMAHA	0120-090-419 0538-32-1186 (受付時間: 9:00~17:00) http://www.yamaha-motor.co.jp/
120	スズキ(株)	SUZUKI	0120-402-263 (受付時間: 9:00~17:00) http://www.suzuki.co.jp/motor/
130	川崎重工業(株)	Kawasaki	0120-400-419 078-925-2003 (受付時間: 9:00~17:00) http://www.kawasaki.co.jp/0120/0120index.html/
140	(株)本田技研工業	HONDA	048-6203-7605 http://www.honda.co.jp/
150	本田技研工業(株)	HONDA	0538-23-0861 http://www.honda.co.jp/
160	本田技研工業(株)	HONDA	050-3786-2635 (受付時間: 9:00~17:00) http://www.honda.co.jp/
170	本田技研工業(株)	HONDA	03-3630-9751 (受付時間: 9:00~17:00) http://www.honda.co.jp/
180	本田技研工業(株)	HONDA	048-394-1881 http://www.honda.co.jp/
180	本田技研工業(株)	HONDA	03-5419-8231 http://www.honda.co.jp/
200	本田技研工業(株)	HONDA	078-326-6019 http://www.honda.co.jp/
210	本田技研工業(株)	HONDA	0120-030-292 (受付時間: 9:00~17:00) http://www.honda.co.jp/
220	本田技研工業(株)	HONDA	0120-55-3578 http://www.honda.co.jp/
230	本田技研工業(株)	HONDA	03-6808-8233 (受付時間: 9:00~17:00) http://www.honda.co.jp/
240	本田技研工業(株)	HONDA	045-763-8188 http://www.honda.co.jp/
250	本田技研工業(株)	HONDA	03-3487-4557

お問い合わせは **TEL 03-3598-8075** (受付時間: 9:30~12:00/13:00~17:00)
TEL 050-3000-0727 (受付時間: 9:30~17:00)

詳しくは <http://www.jarc.or.jp/motorcycle/>

二輪車リサイクルコールセンター

お問い合わせは **2014年12月25日迄 TEL 03-3598-8075** (受付時間: 9:30~12:00/13:00~17:00)
2015年1月5日迄 TEL 050-3000-0727 (受付時間: 9:30~17:00)

販売店向けビデオ教材(映像抜粋)

「二輪車リサイクルシステム」について




一般社団法人 全国軽自動車協会連合会 二輪業務部
 公益財団法人 自動車リサイクル促進センター 二輪車事業部

「バイクをリサイクルしたい」「処分したいのですが・・・」

お客様

自治体では、ごみ(バイク)の処分先として、販売店様をご案内しています!

【自治体が、廃棄二輪車取扱店様をご案内している事例】



いつでも対応可能なように、基本ツールを常備しておきましょう。

- 1 廃棄二輪車取扱店
- 2 二輪車リサイクル管理表
- 3 事業者収集運搬依頼管理表
- 4 車見マニュアル
- 5 マニュアル
- 6 パンフレット